

<京浜歴史科学研究会 2006年秋の歴史を歩く会>

秋の金沢八景を歩く

—金沢文庫と憲法草創の地を訪ねて—



横浜市の金沢周辺は、鎌倉時代に鎌倉からの物資輸送ルートとして開け鎌倉幕府の重要な港湾地域でした。その地に金沢実時は称名寺と私設図書館として金沢文庫を創立しました。江戸時代には、江戸からの身近な観光地として脚光をあびました。

明治時代には、政治家たちの別荘が多くつくられ、夏島にあった伊藤博文の別荘は大日本帝国憲法の原案が作成されたことで有名です。その後、横須賀に隣接して軍事工場がつくられ、街の風景は次第に変わっていきます。

中世・近世と近代が同居する街・金沢。その移り変わりに思いを馳せながら、秋の一日を一緒に歩いてみましょう。

【日時】 11月12日（日）（雨天順延 11月19日<日>）

*実施の問い合わせは当日午前6～7時までに事務局へ

【集合】 京浜急行金沢文庫駅改札口 午前10時

【コース】

金沢文庫駅（集合）→県立金沢文庫→称名寺（昼食）→龍華寺→明治憲法草創の碑→野島公園（伊藤博文別荘）→金沢シーサイドライン野島公園駅（解散）

*歩く距離は4キロぐらいです。

【参加費】 1000円（資料代・観覧料）

【昼食】 昼食（弁当）は各自でご持参下さい

【解散】 午後3時頃を予定

【お願い】 参加ご希望の方は事務局まで連絡をお願いします。

【事務局】 横浜市港南区芹が谷5-59-12 大湖賢一方
電話（FAX兼）045-825-3736

E-mail: oogo@mvj.biglobe.ne.jp